

## いわき農林事務所ニュース

2007年 5月号

### ◎活動状況

- ・新規就農相談所を設置
- ・渡辺小学校の「田んぼの学校」(その2)

### ◎トピックス

- ・小川江筋堰学習・清掃活動が実施される
- ・「ふくしま・グリーンフォレスターの会」設立
- ・いわき市営芝山牧野が開牧
- ・緑の募金活動
- ・原木ナメコの植菌が行われる



## 活動状況

### ○新規就農相談所を設置しました！

4月19日(木)から、いわき農林事務所農業普及部に「新規就農相談所」を設置しました。これまでも新規就農相談業務は行っておりましたが、新たに看板を掲げることにより、就農希望者が来庁し相談を受けやすい環境を整えました。相談の際には、就農の動機や農業への取り組み意欲、農地・資金の要望などを聞き取りしますが、相談内容に応じて関係機関と連携し対応することも考えております。

また、重点相談日を毎月19日に設定し、当日は担当職員等が必ず待機するなど就農希望者の訪問に迅速に対応できる体制をとっておりますので、農業を仕事としてやりたいと考えている方は是非ご来庁ください。



看板を設置しました

### ○渡辺小学校の「田んぼの学校」(その2)

4月25日(水)、環境教育事業である平成19年度「田んぼの学校」がいよいよ始まりました。

今年度最初の活動となるこの日の作業は、これから一年間ユニフォームとして着用する「田んぼの学校Tシャツ」づくりです。5年生児童18名は、用意したTシャツに、キャラクターなどをそれぞれ思い思いの場所に、アイロン付けです。初めはなかなかうまくいきませんが、みんなで協力し合い、それぞれが違うデザインの「only oneユニフォーム」を完成させました。

完成後、早速試着をして、誇らしげに「みせっこ」をしている姿から、児童達は十分満足した様子でした。

来月は「生きもの調査・しろかき」、そして「田植え」とイベントが続き、いよいよ本格的に「田んぼの学校」が始動します。一生懸命に作ったTシャツを着用して、1年間楽しく田んぼについて学んでほしいと思います。



みんなで記念撮影

## トピックス

## ○小川江筋堰学習・清掃活動が実施されました

4月21日(土)、いわき市小川町において小川江筋堰の施設学習と清掃活動が実施されました。

今年度から農業水利施設の一斉点検時期「施設管理強化月間」に合わせて、施設の役割や維持管理の重要性を理解してもらう目的で実施し、一般市民や関係者約50名が参加しました。

まず初めに、磐城小川江筋土地改良区の中根理事長から、全国的にも珍しい「木工沈床」をはじめ、江筋の歴史や役割などについて講義を受けました。

続いて大堰神社や源門を見学の後、水路に沿って設備の説明を聞きながら約3kmにわたって清掃活動を行いました。

最後に、関場公民館にて、土地改良区による豚汁が振る舞われ、昼食を取った後解散となりました。

参加者たちは、土地改良区の役割や農業・農村の多面的機能、農業水利施設への理解を深め合いました。



散策しながら清掃活動

## ○「ふくしま・グリーンフォレスターの会」が設立されました

4月24日(火)、「ふくしま・グリーンフォレスターの会」設立総会が湯の岳山荘において開催され、60名の会員の賛同を得て、会が設立されました。これは、これまで県内各地で開催される森林づくり活動や森林環境学習などで林業の重要性を伝える活動を行ってきたグリーンフォレスターが、交流を図り、連携して活動を実施するために会を発足したものです。

「福島県グリーンフォレスター」とは、県民参加による森林づくり運動の促進を図るため、森林整備活動や森林環境教育を通して、林業の重要性や技術などを広く県民に伝えるボランティアによる指導者で、平成15~17年度にかけて県の事業により養成・認定されています。

設立総会には、各地域のグリーンフォレスターが参加し、設立までの経緯や今後の会の活動について話し合いました。

今後は、会員の技術向上を図る勉強会や学校等教育活動・森林づくり活動の指導などを引き続き行う予定で、各地域のグリーンフォレスターの組織的な活動が促進されるなど、森林づくり活動の指導者としてますます活躍が期待されます。



平子会長のあいさつ

## ○いわき市営芝山牧野が開牧しました

4月26日(木)、いわき市三和町上三坂にあるいわき市営芝山牧野が開牧しました。

当日は青空の下、畜産農家を始めた関係者が集まり開牧式が行われました。

続いて、放牧される牛および馬の確認作業が行われ、次々と牧野に駆け出し、牧草をはんでいました。

この日放牧されたのは、乳牛11頭、和牛23頭、馬16頭の合計50頭でした。

放牧は閉牧となる11月までの約7か月間行われる予定です。



牧野に到着した和牛

## ○緑の募金活動が行われました

4月28日(土)、観光客で賑わう「いわき・ら・ら・ミュウ及びアクアマリンパーク」周辺で、汐見が丘小学校緑の少年団が緑の募金を呼びかけました。この活動はいわき市緑化推進委

員会の主催により、毎年、緑の募金期間内にPR活動の一環として行われるものです。

開会式の後、いわき農林事務所長、いわき市森林組合長等も加わり、募金への協力を呼びかけました。今年度の緑化運動テーマは「つなげよう 輝く未来へ 緑のバトン」です。

なお、運動推進期間は、春季は「4月1日～5月31日」、秋季は「9月1日～10月31日」となっています。



募金へのご協力ありがとうございました

## ○原木ナメコの植菌が行われました

4月29日(日)、いわき市田人町荷路夫地区の有志でつくる「明神里山実行会」によって原木ナメコの植菌が行われました。参加したのは、同実行会の会員のほか、地区内の住民、いわき農林事務所職員などおよそ30名です。

今回の植菌は、福島県林業研究センターで選抜された菌株の現地適応化試験を兼ねて行われたもので使用された菌株は原木用ナメコN3号及びN4号菌です。これらは、いずれも種苗法に基づき現在品種登録の手続きが行われているもので、県内各地における発生時期や発生量などの栽培特性を把握するため各地区のきのこ栽培者や林業グループなどによって栽培試験が行われています。

まず、同実行会の会員及びいわき農林事務所職員が植菌の方法などを参加者に説明、指導しました。その後、実行会の会員らによって植菌が行われました。植菌した樹種はコナラで約150本の原木に植菌しました。

植菌した原木は直ちに地区内の山林に伏せ込み、今後同実行会といわき農林事務所が協力して管理し、来年の秋以降発生量等のデータを収集するとともに、親子による収穫体験も実施されることになっています。

なお、この日は同実行会によって以前に植栽された山菜の収穫祭も併せて行われ、地区内の子供も参加してタラノメが収穫されました。



植菌の様子

◀ もどる

すすむ ▶